

# 国 語

## (中学校第 2 学年)

### 注 意

- 「始め」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 下の欄<sup>らん</sup>に、組、出席番号、名前を書きなさい。
- 「始め」の合図があったら、別に配られている解答用紙に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（基本）」から始めなさい。
- 問題用紙は、全部で 1 0 ページあります。  
「A問題（基本）」は、6 ページで、問題は **五** まであります。  
「B問題（活用）」は、4 ページで、問題は **二** まであります。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が 2 5 分、「B問題」が 2 0 分です。  
時間に気をつけて解きなさい。  
早く終わったら、先に進んで解いても、もとにもどって解いてもかまいません。
- 答えは、解答用紙の決められた場所に、はっきりと書きなさい。
- 印刷がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげなさい。  
問題の内容などの質問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（基本）	<b>一</b> <b>二</b> <b>三</b> <b>四</b> <b>五</b>	2 5 分
B問題（活用）	<b>一</b> <b>二</b>	2 0 分
合 計		4 5 分

2 年	組	番	名前
-----	---	---	----

## A 問題

(二十五分)

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(1)～(4)は、段落の番号である。)

1 六年生の夏休み後だった。夏休みの宿題だった絵をおのおの持ってきて、品評会が行われた。九十分中六十分をおしやべりで過ごすように、夏休みも四分の三ほど遊んで過ごし、残りの少ない日数で描くべき何かを見つけることもできず、私が描いたのは自室の棚に突っ込んだ羊の縫いぐるみだった。ずらりと並べられた生徒たちの絵を見ていって、先生は汚いなあ、とか、これはおもしろいね、とかいろいろコメントし、①相変わらずそこそこので私の絵の前で、ふうん、縫いぐるみか、とか何とか、特別感慨もない声を出して通り過ぎていった。何枚目かにまなちゃんの絵があった。まなちゃんも油絵だった。

2 それほど大きくないカンバスに一本の道が描かれていた。舗装されていらないその土の道は、雑草やすすきに縁取られ、緩くカーブを描きながらまっすぐ続いていった。私の目はその道にくぎ付けになった。

3 夏の終わりのだだをこねるような蒸し暑さ、草いきれ、日が暮れ始める直前の寂しさ、乾いたかすかな風に舞う土ぼこり、美術室に座った私を、そうしたものが一瞬にして包み込んだ。もう帰らなくてはならないのに、この緩く曲がった上り坂の向こうの景色を確かめにいきたい。そんな気持ちまで味わった。私はその絵の中に突っ立っていた。

4 私はその絵を見た時、そこそこであることを心から恥じた。憎んだと言ってもいい。小学生の女の子が描いた一枚の油絵は、何か奇妙な切実さに満ちていた。その切実さはこちらに触手を伸ばして、好むと好まざるとにかかわらず、見る側を絵の中に引きずり込んでいく。切実さは力だった。力を持つ何かを私は初めて間近で見た。そして、この世の中には②圧倒的になかなわないことがあるのだと、初めて知った。

(角田光代「まなちゃんの道」による)

※ 草いきれ：草むらが強い太陽に照らされて、むっとするような熱気を発すること。

問一 文章中に――線①「相変わらずそこそこので私の絵」とありますが、まなちゃんの絵を見た後、私が自分自身の絵に対してどのような感情を抱いたと考えられますか。私の感情として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 歓喜  
イ 満足  
ウ 驚異  
エ 嫌悪

問二 文章中に私がまなちゃんの絵に衝撃を受けた様子が描かれている慣用句がある。その慣用句が含まれる一文を、②～③から探し、はじめの五字を答えなさい。

問三 文章中の――線②「圧倒的になかなわない」とは、まなちゃんの油絵には私の絵にはない何かがあることを知ったからである。その何かを文章中から十七字で「力」に続く形で、抜き出して書きなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(1)～(5)は、段落の番号である。)

1 かつて田んぼは用水路で水を引いていました。その用水路は田んぼとほぼ同じ高さであり、微妙な高さの違いを利用して水の入り口と出口が造られていました。一つの田んぼから出た水が隣の田んぼに入る、という構造になっていたものもありました。そのような用水路は地形に応じて曲がっており、深さも一定でないで、水の流れにも微妙に違いがあり、それに応じて違う植物が生えていました。昔の子供が夢中で魚捕りをしたのは、このような用水路でした。秋になって田んぼから水が抜かれても用水路には水が残っており、くぼみが「魚だまり」となって魚が生きていたのです。

2 ところが、一九六〇年代から始まった農業基盤整備事業によって、自然の地形に応じて造られていた田んぼに大きな変化が生じました。かつて人力で営々と築かれてきた田んぼは、大規模な土木工事によって完全に造り変えられてしまったのです。田んぼの水が管理しやすいように、用水路はU字管というコンクリート管にされました。断面の形がU字型なのでこう呼ばれます。U字管の機能は水田に水を運ぶことです。それ以外のものは必要ありません。その結果、水を流す時は洪水のように大量の水が勢いよく流れます。

3 魚が隠れる所もなければ、カエルが卵を産む所もありません。用水路は田んぼから効率的に排水するために、水田との高さの差が大きくなるように造られました。このため、水を抜くと田んぼは完全に干上がりします。その結果、夏の「洪水」と冬の「 」が繰り返されることになりました。これでは生きていける動物はいません。

4 日本の農業は稲作が中心ですが、それは米を巨大なポットのような所で効率的に作ることでありませんでした。毎日の営みの中で米作りを中心に置きながらも、家畜を飼い、裏山から肥料となる枯れ葉を集め、時々ドジョウやフナを捕るなど、実にさまざまな営みの中で行われたものでした。また、田植えの時には若い女性が晴れ着を着て早苗を植え、近所の人が助け合って田植えや稲刈りを

するという社会の営みでもありました。そして先祖から引き継いだ土地に祈りをささげ、収穫物に感謝をささげるといふ心に支えられたものだっただけです。それは工場で米という名の製品を作るのとはほど遠い営みでした。

5 しかし、この土木工事は② のようなこと全てを無視したものでした。そのことの意味の深さを私たちは考え続けなければならぬと思います。

(高槻成紀「生物が消えていく」による)

※ 農業基盤整備事業：農業の生産力や生産性を向上させるため、土地改良や用・排水路の整備などを進めた事業

※ ポット：深くて丸い容器

※ 早苗：田へ移し植えるころの小さな稲の苗

問一 文章中に――線①「田んぼ」とありますが、1～4の段落は、いつの「田んぼ」の様子が記述されていますか。正しい組み合わせを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 以前が1と2、今が3と4  
イ 以前が1と4、今が2と3  
ウ 以前が1、今が2と3と4  
エ 以前が2、今が1と3と4

問二  に入る言葉として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 氷原    イ 寒冷    ウ 砂漠    エ 温暖

問三 文章中の――線②「そのようなこと」の内容を説明している連続する三文を抜き出し、はじめと終わりの五字を書きなさい。

### 三

島村さんは、「新しい友達」というテーマで文章を書いています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

#### 新しい友達

島村 まや

「これからよろしくね。」  
一学期の始業式が終わったすぐあとで、となりの席の山田さんが声をかけてくれた。ふと見ると、山田さんの持つているペンが、私のものとおそろいであることに気が付いた。うれしくて、一気に親しみがわいた。

そのあと、新しく同じクラスになったメンバーで、自己紹介をする時間になった。私は緊張していたが、みんなに聞こえるように大きな声で、自分の名前と趣味<sup>しゅみ</sup>について話した。

私の趣味は、身の回りの写真をとっている。以前から、家の近くにある中央公園へ行って、花や小鳥の写真を撮っていたことを話した。すると、山田さんをはじめ数名が、趣味は写真だと話したので、とても驚いた。

みんなの自己紹介を聞き、いろいろな趣味や特技が分かり、早く仲良くなりたいと思った。これから、新しい友達をたくさん増やし、充実<sup>じゅうじつ</sup>した一年間にしていきたい。

#### 問一

島村さんは、文章を読み直したところ主語と述語の係り受けが適切ではない一文があることに気が付きました。その一文を探し、正しく直して書きなさい。

#### 問二

この文章で、島村さんが工夫していることの説明として、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 異なる立場からの意見を想定して、引用文などを用いて、説得力が増すように書いている。

イ 会話を多用することで、自分の考えを具体的に伝えるように書いている。

ウ 呼びかけの言葉や自分の気持ちを表す語を使うことで、場面を容易に想像できるように書いている。

エ 出来事の順序を入れ替えることで、非現実的な世界を描いているように書いている。

青木さんの学級では、体育大会の長距離走ちやうきょきよりの選手決めについて話し合っています。次は、【話し合いの一部】と司会の青木さんの【メモ】です。これらを読んで、後の問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

青木	村山	佐藤	井口	小野	田村	野田	青木
今から体育大会の長距離走の選手決めについて話し合いをします。どのようにに選手を決めるとよいか、その理由も含めて言ってください。	私は、立候補した人を対象にくじ引きをして、選ぶと思います。やる気がある人に走ってほしいからです。	ぼくは、くじ引きは時間がかからず公平なので、全員を対象にして決めるのがよいと思います。	私は、走りたい人を募 <sup>つ</sup> って、多い場合にはその人たちが集まって話し合いをすればよいと思います。	佐藤さんの方法だと、長距離走が苦手な人にとって負担になるのではないでしょうか。	私も小野さんの意見と同じで、長距離走が苦手な人を選ぶことは賛成できません。その方法だと、みんなが楽しむことができないからです。	私は、体育の山田先生に決めてもらうのが一番よいと思うのですがいかがでしょうか。	いろいろな意見が出てきましたので、整理してみたいと思います。ただ、その前に一つ確認させてください。井口さんと野田さんは、 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 。

【メモ】

	＜方法＞	＜理由＞
村山	立候補者がくじ引き	やる気重視
佐藤	全員がくじ引き	時間がかからず公平
井口	走りたい人が多い場合は話し合い	
野田	山田先生が決める	

問

青木さんは、どのように【メモ】を書いていますか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

問  
一

青木さんは、【メモ】を見て、井口さんと野田さんに確認しなければならぬことに気が付きました。【話し合いの一部】の

で、青木さんは何を確認すればいいですか。「井口さんと野田さんは」に続けて、実際に話すように書きなさい。

**五** 次の問いに答えなさい。

問一 次の(1)、(2)の――線の漢字の読みがなを書きなさい。

(1) 修学旅行中は、朝六時に起床する。

(2) バランスを崩す。

問二 次の(1)、(2)の――線のひらがなを、漢字に直して書きなさい。

必要なものには、送りがなをつけなさい。

(1) 風でガラスがしんどうする。

(2) あざやかに光り輝く。

問三 部首が同じでない漢字が一つだけある。その漢字を、次の

アゝエから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 安 イ 室 ウ 害 エ 空

問四 次の文にはどのような表現の工夫（表現技法）が使われている

のかを、後のアゝエから一つ選び、記号で答えなさい。

僕は、まるで宝を探す人のように、網を持って待ち伏せていたものだ。

ア 反復 イ 倒置 ウ 比喩 エ 対句

問五 次の文の主語を、一文節で抜き出して書きなさい。

チョウを右手に隠して、ぼくは階段を下りた。

問六

次の漢字の成り立ちについて適当なものを、後のアゝエから一つ選び、記号で答えなさい。

馬



ア 象形

イ 指事

ウ 会意

エ 形声

問七

次の――線部を、現代仮名遣いに直して書きなさい。

大学の君、その日の文うつくしう作りたまひて、進士になりたまひぬ。

問八

次の漢字を楷書と比較したときにどのような違いがあるか、**適当ではないもの**を、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



ア 点画が連続している。

イ 点画の省略がある。

ウ 文字が丸みを帯びている。

エ 筆順が変化している。

次のページから B 問題があります。

## B 問題

(二十分)

【一】ある雑誌に掲載された【投書】を読んだ中山さんが、その言葉について調べました。次は、そのときに中山さんが準備した【資料1】、【資料2】です。これらを読んで、後の問いに答えなさい。

### 【投書】

若者の言葉に違和感

「ヤバイ!このケーキ、旨い。」  
最近、テレビを見ていると高校生から若い社会人を中心に、「ヤバイ」という言葉を連発している。私は、なにか「ヤバイ」のか意味がわかりませんでした。

先日、高校生の孫が訪ねてきたので、「ヤバイ!このケーキ、旨い。」、このときの「ヤバイ」とはどのような意味なのかを聞いてみました。

すると孫は「ここでは、『想像以上にとても』という意味だけど、

状況によって、『ヤバイ』の意味は変わるし、ほとんどが、自分の予想を超えているという感じかな。」と教えてくれました。

私は「やばい」は、否定的な文脈で使うのが本来の意味だと思っ

て使っています。だから、

本来日本語にはない意味で若者が、「やばい」を使うことに違和感を覚えます。

言葉は本来の意味で使うことが大切だとみなさんは思いませんか。

(宮崎市 70歳 日南みさと)

### 【資料1】 平成十七年度版と平成二十六年年度版の国語辞典の比較

平成十七年版の国語辞典

#### やば・い〔形〕

① 自分に不利な状況が身近に迫るさま。また、そのような状況が予測されるさま。「すぐ逃げないとーぞ」

② 程度が激しいことを表す語。はなはだしい。ひどい。「定食のごはんの量がー(＝多い)」

平成二十六年版の国語辞典

#### やば・い〔形〕

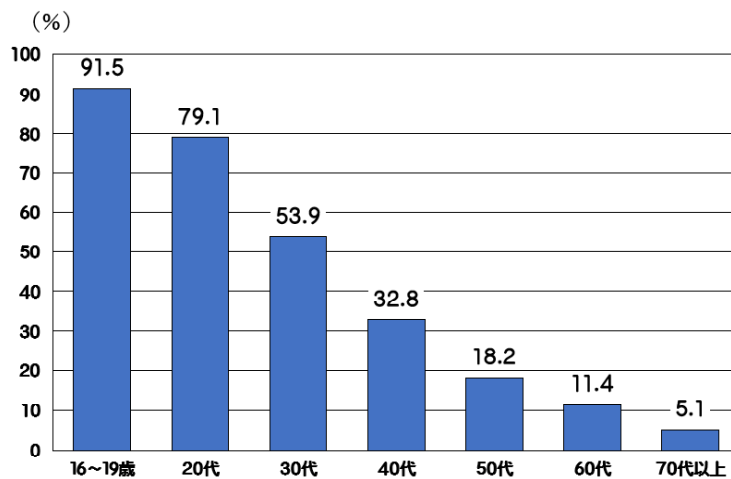
① 自分に不利な状況が身近に迫るさま。また、そのような状況が予測されるさま。「すぐ逃げないとーぞ」

② 程度が激しいことを表す語。はなはだしい。ひどい。「定食のごはんの量がー(＝多い)」

※ 若者言葉で、すごい。自分の心情が、ひどく揺さぶられている様子についていう。肯定的な文脈から、否定的な文脈まで、幅広く用いられる。

### 【資料2】

「やばい」という言葉を「自分の心情が、ひどく揺さぶられている様子」という意味で使ったことがある。



平成26年度「国語に関する世論調査」(文化庁)により作成



問一 「やばい」という言葉について、【投書】の内容と、【資料1】、【資料2】から判断できるものとして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 平成十七年から平成二十六年の間に、「やばい」という言葉が、「自分の心情が、ひどく揺さぶられている様子」という意味でしか使用されなくなってきたと考えてられる。

イ 平成十七年から平成二十六年の間に、「やばい」という言葉を、「自分の心情が、ひどく揺さぶられている様子」という意味で使用する人が増えてきたと考えられる。

ウ 「自分の心情が、ひどく揺さぶられている様子」という意味で「やばい」を使っている七十代以上の人全員が、日南みさとさんと反対の意見であると考えられる。

エ 「自分の心情が、ひどく揺さぶられている様子」という意味で「やばい」を使ったことがない人は、肯定的な意味でしか「やばい」を使つてはいけな思っている人たちであると考えられる。

問二 【投書】に対するあなたの考えを、次の（条件）に従って書きなさい。

（条件）

- ・ 第一段落は、解答题紙の --- に「賛成」か「反対」を書くこと。
- ・ 第二段落は、【資料2】から読み取れることを理由にして、解答题紙の書き出しに合わせて、六十字以上、八十字以内で書くこと。

二 坂井さんの学級では、国語の時間に「分かりやすく説明するための工夫」について、【新聞記事の一部】を利用して学習しました。後は、

【会話の一部】と、先生から配付された【資料1】、【資料2】です。これらを読んで、後の問いに答えなさい。

【新聞記事の一部】

## ネット利用

A

## 好成绩

中学校二年生を対象にした全国一斉学力調査のデータからスマートフォン等の使用時間（通話やインターネット等）と調査の平均点の関係を下のグラフで表している。国語Aも数学Aも、ネットの利用時間が長いと点数が低い。

ここで、注目していた

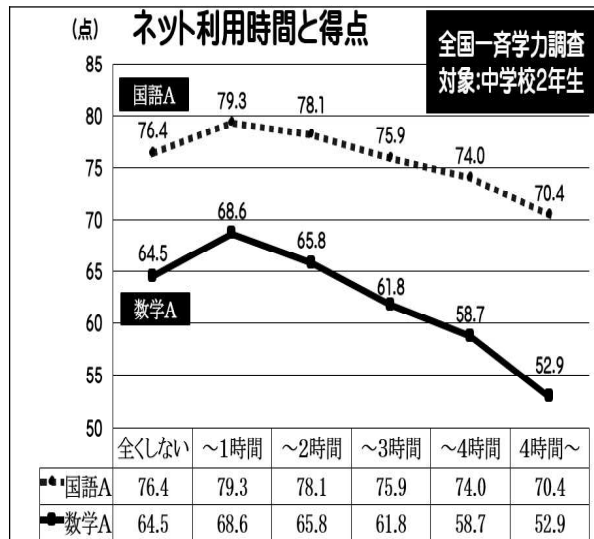
時間しかない生徒ではなく、『一時間でやめられる生徒』である。』とあった。

「自制できる生徒」が成績がいいのである。「しない」「させない」が重要なのではなく、子どもたちの自律を社会全体で促していくために、でき

「B」が一般的に考えてみると、「B」が一番得点が高くなるはずだ。

しかし、実際は「C」の生徒よりも得点が低くなっている。これはいったいどういうことだろうか。このことを説明する一つの根拠となったのが、宮崎県総合研究所の「ネット利用時間と得点の相関関係」という研究資料である。

その資料には、「一番成績のよい生徒は、『一



参考：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（2013）

【会話の一部】

坂井

この新聞で【資料1】や【資料2】が使われなかった理由は、記事の内容を分かりやすく読者に伝えられないからだったよね。

谷口

そうだったね。【資料1】では、提供されている情報は新聞記事のグラフと同じだけど、分かりやすく説明するという点では変化の様子が一目でとらえづらいという欠点があったよね。

黒木

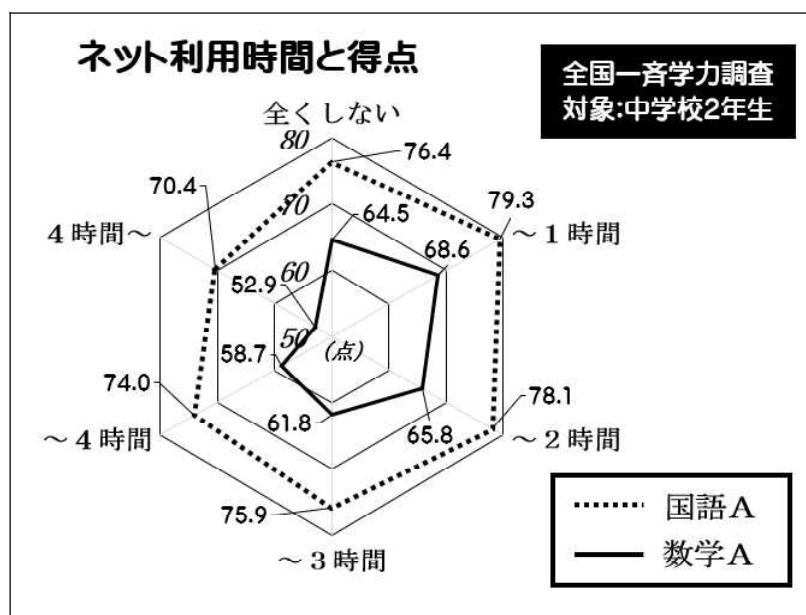
【資料2】は、二つの教科の全体の傾向をつかむのにはよかったけれど、この新聞記事の内容を読者にうまく伝えるという点では、適切なグラフではなかったよね。

坂井

あなたの発言

【資料1】

全国一斉学力調査におけるネット利用時間と得点について、国語Aと数学Aにおいて、ネット利用を「全くしない人」の得点は76.4と64.5、「～1時間」の得点は79.3と68.6、「～2時間」の得点は78.1と65.8、「～3時間」の得点は75.9と61.8、「～4時間」の得点は74.0と58.7、「4時間～」の得点は70.4と52.9という結果であった。



参考：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（2013）

問一 坂井さんは、いろいろな新聞を読み比べてみて、見出しに入る言葉

は、記事の中に使われている言葉が用いられていることが多いことに

気が付きました。

Aに見出しを付けるとしたら、どのような見

出しが適当か。【新聞記事の一部】の記事を参考にして、十字程度で

書きなさい。

問二 坂井さんは、新聞ではグラフと記事の内容が一致していないといけ

ないことを学習しました。グラフと記事が一致するように

と「C」に当てはまる組み合わせとして、最も適当なものを、次の

A～Eから一つ選び、記号で答えなさい。

ア	（	「B」	—	全くしない	「C」	—	～3時間	）
イ	（	「B」	—	～1時間	「C」	—	全くしない	）
ウ	（	「B」	—	全くしない	「C」	—	～2時間	）
エ	（	「B」	—	～2時間	「C」	—	～1時間	）

問三 あなたが坂井さんなら【会話の一部】のあなたの発言で、ど

のような発言をするのが適当か。解答用紙にある書き出しの言葉につ

ながるようにして、次の（条件）に従って八十字以上、百字以内で書

きなさい。ただし、書く文は話し言葉でなくてもよい。

（条件）

・一文目は、【新聞記事の一部】にある『ネット利用時間と得点』の

折れ線グラフが新聞で使われた理由（折れ線グラフの特長）に触れ

て書くこと。

・二文目は、「分かりやすく説明するための工夫」について書くこと。

・「読者」、「適切なグラフや表など」、「効果的」の三語を必ず用いて書

くこと。ただし「」は付けなくてもよいものとする。